

原村地域創生関連交付金事業 効果検証シート

①基本情報

交付金名	地方創生推進交付金	担当課・係	商工観光課 商工観光係					
事業名	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト(SUWAモノ・ヒトプロジェクト)							
事業期間	令和2年度	～	令和4年度					
総合戦略での位置づけ	⑤諏訪地域及び八ヶ岳周辺地域が連携した魅力ある圏域をつくる							
事業の概要・目的	<p>諏訪地域の強みである製造業の持続的な発展を維持するためには、企業の成長の原動力となる人材の確保や、製造業が誇る技術力・応用力の向上を併せた諏訪地域全体のブランド価値を高める必要がある。また、諏訪圏が一体となってUIターン促進や若年層からのキャリア教育・人材育成等を通して、中長期的なモノづくり人材確保策を展開していく。</p> <p>①広域的なモノづくり機会の創出(公立諏訪東京理科大学) ②関係人口の創出とモノづくり人材の育成・確保(信州大学) ③SUWAブランドの普及・高付加価値化(岡谷市工業振興課他)</p>							
事業の詳細・経費	モノづくり集積地SUWAのヒトづくりプロジェクト負担金 1,630,000円 (内、地方創生推進交付金 815,000円)							
計画額	1,630	千円	実績額	1,630	千円	交付金額	815	千円

②重要業績評価指標(KPI)

指標	目標値	実績値	達成率
① 若年層を対象とした事業の参加人数	50 人	168 人	336 %
②			%
③			%

③内部評価

事業効果	③地方創生に効果があった
事業効果判断理由	コロナ禍ではあったが、オンラインや少数で開催することができた。
今後の方針	⑤事業の終了(当初の予定通り事業を終了する)
今後の方針判断理由	事業の最終年度であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも事業を実施することができた。

④地域創生検討委員会からの評価

事業効果	②地方創生に相当程度効果があった
主な意見	<p>・事業の最終年度という事ではあるが、原村のモノづくりの村としてブランド化していく為には、長期にわたる取り組みが必要かと思う。</p> <p>・モノづくりという抽象的分野に具体性を持った非日常的なロケットというテーマを持ち込んだことでモノづくりへの興味と刺激を与えることができたのではないかと。</p>

⑤事業のあり方(地域創生検討委員会の効果検証を受けて)

今後の方針	⑤事業の終了(当初の予定通り事業を終了する)
今後の方針判断理由	事業の最終年度であったが、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、モノづくりへの興味や関心を持ってもらえるような事業を実施することができた。